

RSA® Authentication Manager

RSA SecurID® の二要素ユーザー認証を実現する認証サーバー

RSA® Authentication Managerは、RSA SecurID®ソリューションの中核コンポーネントとして、ネットワークに対する認証要求の検証と、ユーザー認証ポリシーの中央集中型管理を行う認証サーバーです。RSA SecurID、RSA Authentication Agent、そして認証エンジンとなるRSA Authentication Managerの3つのコンポーネントで構成されるRSA SecurIDソリューションは、VPN、無線ネットワーク、Webアプリケーション、ビジネス・アプリケーションおよび各種オペレーティング環境において、強力な二要素認証を提供し、なりすましによる不正アクセスから、企業の情報資産をしっかりと守ります。

特徴

- 中小から大規模まで、あらゆる企業規模のニーズに対応できるスケーラビリティ
- 200社を超えるベンダーの300種以上の製品で相互運用性を検証済み
- 2,400万人を超えるRSA SecurID®ユーザーの認証を支えてきた実績
- 有線はもちろん、無線ネットワークにおいても厳格なユーザー認証と高い秘匿性を実現

優れたパフォーマンスとスケーラビリティ

RSA Authentication Managerは、あらゆる企業規模のニーズに対応できるスケーラビリティを備えています。マルチプロセッサ・アーキテクチャー・システムを基本としており、1台のサーバー構成で25から数百万までの幅広いユーザー数に対応し、100件以上の同時認証も可能です。高性能とスケーラビリティを兼ね備えていることから世界各国の銀行、政府機関、製造、ハイテク、医療など、様々な分野におけるミッション・クリティカルな業務の認証を支えています。

データベース・レプリケーション

RSA Authentication Managerには、柔軟性に富んだネットワーク構成と負荷分散に対応するデータベース・レプリケーション機能が搭載されており、優れたパフォーマンスと低コストで効率のよい運用管理を両立します。

規模にあわせて選択できる2種類のライセンス

RSA Authentication Managerには、ベース・エディションと、エンタープライズ・エディションの2種類があります。

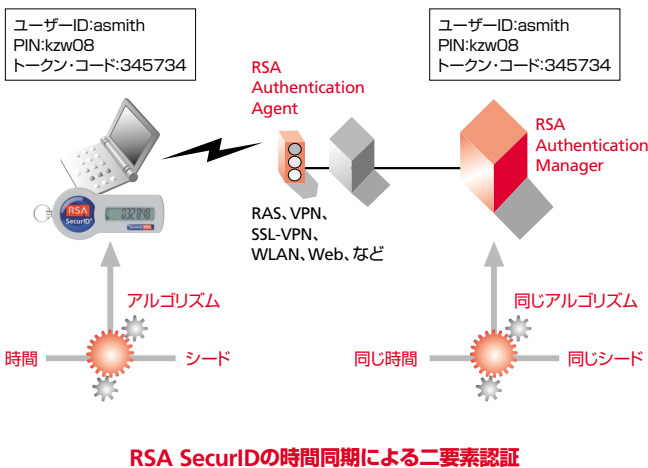
ベース・エディションは、マスター・サーバーとレプリカ・サーバーをそれぞれ1台使用する構成です。ユーザーの管理と認証はマスター・サーバーが処理し、すべての情報がレプリカ上に複製されます。どちらのサーバーも認証要求を処理できるため、RSA Authentication Agentが応答時間を検知して適切に要求を振り分けます。2台のサーバーの間で常にワークロードのバランスが調整されるので、最適なパフォーマンスを引き出すことができます。

大規模ネットワーク向けのエンタープライズ・エディションでは、1台のマスター・サーバーに対し、1レルムに最大10台のレプリカ・サーバーを配置できます。しかも、最大6つまでのレルムを結合できます。管理者は、世界中どこからのアクセスに対しても、ユーザー認証をリアルタイムで追跡できるだけでなく、グローバル・ネットワーク全体のセキュリティ・ポリシーの同時更新や、ネットワーク・パフォーマンス向上に役立つグローバル・ネットワーク・トポロジーの構築にも対応します。高い可用性を誇るVERITAS™ Cluster ServerやSun® Solaris™ と組み合わせれば、ディザスタ・リカバリとフェイルオーバーの性能が向上し、優れた事業継続性を持つシステムを構築できます。

使いやすい管理インターフェースが効率のよい中央集中型管理を実現

RSA Authentication Managerは非常に柔軟な管理機能と制御機能を備えています。サーバー・コンソールからの直接管理以外に、Windows®インターフェースやWebブラウザからのリモート管理にも対応します。いっそう操作性の向上した管理インターフェースを利用すれば、1ユーザー単位の配布はもちろん、大量ユーザーへの一括割り当てや一括リプレースなど、RSA SecurID トークンに関するあらゆる管理作業を同じサーバー・コンソールからストレスなく行うことができます。

さらに、LDAPサポートやヘルプデスク・ユーティリティ「Quick Admin」を利用すると、セキュリティ管理者の仕事はいっそう軽減されます。LDAPサポートは、ディレクトリ内のユーザー情報およびグループ情報を自動的にRSA Authentication Managerと同期させて、中央集中型の管理を実現します。また、Quick Adminを利用すると、管理者はWebブラウザからユーザー情報やトークン情報を更新できるので、デスクトップごとに管理クライアントをインストールする必要がありません。



監査に即応できるレポーティングツール

RSA Authentication Managerは、すべてのトランザクションとユーザー・アクティビティをログに記録します。管理者はログを活用して監査、経理、コンプライアンス用のツールとして利用できます。またレポート・テンプレートでは記録したアクティビティ、例外処理、インシデント、使用状況の要約をはじめ、管理ニーズに合った報告書を簡単に作成できます。

豊富な相互運用性とカスタマイズAPI

RSA Authentication Managerは、主要ネットワーク・インフラおよびオペレーティング・システム製品の多くと相互運用性を備え、その数は200社を超えるベンダーの300種以上の製品にのびります。リモート・アクセス製品、VPN、ファイアウォール、無線ネットワーク・デバイス、Webサーバー、ビジネス・アプリケーションの主要ベンダーは、RSA Secured®パートナー・プログラム (RSA SecurID Ready®) を通して、その製品にRSA Authentication Managerとの互換機能を組み込んでいます。このようなメーカー間での事前対応により、ユーザーは余計な追加投資や新たな開発コストを支払うことなく、これまでの投資を有効活用できます。未サポートの製品やソフトウェアの場合でも、マルチスレッド対応のエージェントAPIを活用すれば、独自のRSA Authentication Agentを短期間で開発できます。

先進の国際標準対応による高いセキュリティ性能

RSA Authentication Managerは、IEEE 802.1xやEAP-POTPといった先進の国際標準仕様に対応しています。これにより有線ネットワークはもとより、従来からセキュリティ強度に不安のあった無線ネットワークにおいても、強力な認証と高い秘匿性を実現し、優れたセキュリティ性能を発揮します。

サポート・プラットフォーム

- Microsoft Windows 2000, Windows 2003
- Sun Solaris, HP-UX, IBM AIX
- Red Hat Linux, SuSE Linux



RSAセキュリティ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビルディング
エンタープライズ営業本部
Tel (03) 5222-5230
<http://www.rsasecurity.co.jp>
info-j@rsasecurity.com

販売代理店

RSA, RSAのロゴ, RSA SecurID Ready, SecurID, およびRSA Securedは、米国およびその他の国におけるRSA Security Inc.の登録商標または商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国およびその他の諸国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。SunおよびSolarisは、米国およびその他の諸国におけるSun Microsystems Corporationの登録商標または商標です。ここに記載されたその他のすべての製品およびサービスは、それぞれに記載の所有物です。